

都城市立美術館開館30周年記念

素顔の佐伯祐三と山田新一展



市立美術館は昭和56年、県内初の美術館として開館し、今年で30周年を迎えます。

収蔵品は1000点を超え国際的な作品も加わり充実してきました。今回の企画展では、山田著「素顔の佐伯祐三」をもとに二人の作品のほか、友情の絆を示す直筆の手紙など、貴重な資料の数々を展示します。

◎問い合わせ

美術館 ☎25-1447



佐伯祐三
「モランの寺 (サン・ジェルマン・シュル・モラン)」
東京国立近代美術館所蔵



佐伯祐三
「リュクサンブール公園」
田辺市立美術館所蔵

佐伯祐三 明治31年～昭和3年

大阪の光徳寺の次男として生まれます。大正12年パリに旅立ち、ヴラマンクやユトリロに影響を受けて、ポスターや広告が貼られたパリの街角を題材とした作品を制作。大正15年に一時帰国し、国内においても高い評価を得ました。鋭く黒い線描と暗い色調の中の鮮やかな色使いを特徴としています。

昭和2年夏、京城(ソウル)の山田のもとを訪れ、シベリア鉄道経由で再びパリへ向かいますが、結核を患い、精神も病んでいた佐伯は30歳の若さでこの世を去りました。



山田新一
「湖上客船」
都城市立美術館所蔵

山田新一 明治32年～平成3年

台湾で生まれ、旧制都城中学校(現都城泉ヶ丘高校)で学び、東京美術学校(現東京芸大)を卒業後、京城(ソウル)に移り、朝鮮半島での美術展や帝国美術展に出展。昭和3年パリに旅立ち、亡くなる直前の佐伯を見舞いました。

戦後は、京都に住み昭和25年には、日展で岡田賞を受賞、日展参与や光風会名誉会員を務めます。その間度々渡仏し、色彩豊かな風景や人物を数多く描き、フランス政府から国家功労騎士十字章勲章を授与されます。昭和63年都城市名誉市民となり92歳で死去しました。

会期 10月15日(土)～12月4日(日)
9時～17時 月曜日休館

入場料

一般 800円(600円)
高・大学生 600円(400円)
中学生以下 無料

(内は前売り、20人以上の団体など
都城島津伝承館特別企画展の入場券の半券を提示した人は、団体料金で観覧できます)

講演会

11月13日(日) 14時～

大阪市立近代美術館建設準備室
熊田司さんによる講演
「山田新一が見た佐伯祐三」

佐伯と山田2人の絆

山田は、旧制都城中学校に在学中、美術教師の影響を受け画家を志します。卒業後、美大受験のために学んだ川端画学校で出会った二人は翌年そろって東京美術学校に入学。一緒にスケッチ旅行に行ったり、展覧会を開いたり、心からの親友として深い絆で結ばれていました。東京美術学校を卒業し、京城(ソウル)に居を構えた山田がようやく渡仏したパリで生前の佐伯と最後の面会をしたのも何かの縁でしょう。30歳で早世した佐伯とは逆に、山田は92歳まで絵筆を握りました。

平成23年度 都城島津伝承館特別企画展

柳川立花家と島津家

— 近世大名家の文化と交流 —



初の大名家資料展示

重要文化財立花家文書をはじめ、甲冑や変わり兜などの武具、藩主やその夫人が愛用した煙草入れや婚礼調度など、近世大名立花家を象徴する伝来品を公開します。

◎問い合わせ 都城島津邸

☎ 23-2116

立花家の誕生

立花家は江戸時代を通じて柳川の地（現福岡県）11万石を治めた大名家で、戸次道雪を始祖とします。彼は大友宗麟の重臣として活躍し、1571年に宗麟から立花城を任されました。

1575年、男子がいらない道雪は娘閨千代に家督を譲り、1581年に大友氏の家臣であった高橋紹運の長男統虎（後の宗茂）を婿とし、家督を継がせました。



初代藩主立花宗茂

戸次道雪の養子となった宗茂は、1582年に名字を戸次から立花に改めました。九州制覇を目指す島津軍と戦い、秀吉の九州平定を助けた宗茂は、その功績により、1587年に柳川を領地とする豊臣氏の大名となりました。

その後、関ヶ原合戦で西軍に参加したため徳川氏から柳川を改易されましたが、20年後の1620年、柳川に復帰しました。

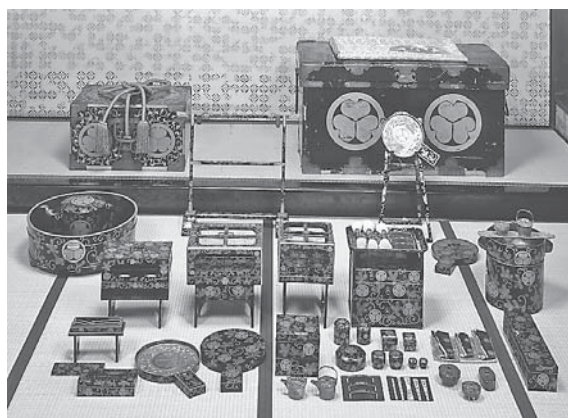
彼は秀吉から「九州の一物」といわれるなど、戦国武将としてのその軍事的能力を高く評価され、徳川幕府では2代将軍秀忠の「御嗽衆」として、将軍の側近くに仕えた人物でした。

立花家と島津家

関ヶ原合戦の敵中突破で名を挙げた島津義弘。立花宗茂は島津義弘を兄のように慕い、朝鮮出兵や庄内の乱、関ヶ原合戦でもその関係がみられます。特に庄内の乱では、島津軍に援軍を申し出るほどでした。関ヶ原合戦では共に西軍につきましたが、宗茂が改易され浪人生活を送ったのに対し、島津氏は旧領を安堵されました。

近世大名立花家の美

徳川幕府2代将軍秀忠の「御嗽衆」として、将軍の側近くに仕えた立花宗茂。立花家はその後も徳川家と深い関わりがありました。12代藩主立花鑑寛にお輿入れしたのは、徳川御三卿の一つ、田安徳川家の娘純姫です。その婚礼調度に代表される同家伝来の華麗な美術工芸品も今回展示されます。



会期 10月8日(土)～12月4日(日)
 9時～17時 月曜日休館
 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

入館料
 一般 400円(300円)
 高・大学生 300円(200円)
 小・中学生 200円(100円)
 都城市立美術館特別企画展の入場券の半券を提示した人は、団体料金で観覧できます

関連イベント 記念講演会
日時 11月3日(木)
 14時～16時

場所 ウエルネス交流プラザ
内容 東京大学史料編纂所 山本博文教授による講演「戦国武将の友情―立花宗茂と島津義弘―」

10月15日(土) 10時～14時

場所 リサイクルプラザさいせい館(下水流町)

環境まつり



環境についての展示や体験コーナー、リサイクル品の抽選販売など、今年も多彩なイベントを開催します。家族そろって来場ください。

◎問い合わせ・申し込み

環境政策課 ☎2312130

体験して学ぶコーナー

親子ミニソーラーカー製作教室

小学4～6年生の親子30組を対象にしたミニソーラーカー作り。完成後にレースを行います。

●時間 10時15分～12時

●参加費 500円

※事前の申し込みが必要



レースの上位者にはすてきな賞品が！

環境対策車の試乗

ハイブリッド車など、環境対策車の試乗体験ができます。※運転免許証が必要

紙すき体験(無料)

牛乳パックからはがきを作ります。●時間 10時30分～12時

手作り天体望遠鏡の工作教室

世界に一つだけの手作り望遠鏡で、夜空を眺めてみませんか。

●時間 12時～14時

●参加費 1,500円

●対象・定員 小学生以上の親子30組

※事前の申し込みが必要



気分はガリレオ。月のクレーターが見えるかな？

自然物を使った工作教室(無料)

ドングリなどを使った工作教室

●時間 12時30分～14時

井戸水の硝酸態窒素検査(無料)

ペットボトル(500ミリリットル以下)に井戸水を入れて持参ください。※先着100人

配布・交換コーナー

●緑化木の無料配布(10時30分～)

※数に限りがあります

●使用済み焼酎パック5枚と、トイレットペーパー1個を交換

※霧島酒造の焼酎パックに限る

●古本1冊を10円で販売

その他

●おもちゃ病院を開きます

壊れたおもちゃを無料で修理。当日修理できないものは、後日取りに来てください。

※材料代が必要な場合があります。

●ゲーム機器は対象外

●フリーマーケット参加者募集

家庭で不用になった衣類などをリユースしませんか？ 9月30日(金)までに、申し込みください。※場所代は無料。当日の雨天対策は各自で準備

●飲食コーナー

手作りそばや北斗鍋など多数出店

リサイクル品の抽選販売

家庭で不用になった家具や自転車を再生し、希望者に抽選販売します。

●応募資格 市内または三股町在住の18歳以上の人

※配達はできません

●応募方法 さいせい館に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、応募箱へ

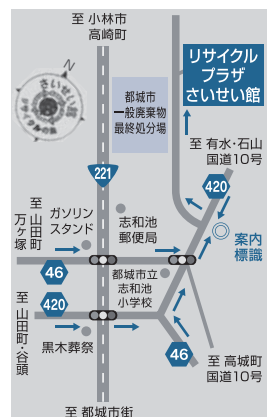
※電話、ファクスでの申し込みはできません。一人当たり家具・自転車各1点のみ

●応募期間 9月30日(金)～10月15日(土)(環境まつり当日)の12時まで

●抽選方法 10月15日(土)の13時頃からまつり会場で抽選発表

※発表時に会場にいない場合は、当選取り消しになります

◎問い合わせ さいせい館 ☎3613900



9月は
がん制圧
月間です



いたっみるかいがん検診!

日本人の死亡原因の第1位を占めるがん疾患。市でも、毎年500人ほどの人たちが、がんで亡くなっています。がんによる死亡を防ぐには早期発見が第一。そのためには、定期的にがん検診を受診し、がん予防に努めましょう。

● 問い合わせ 健康課 ☎23-2765

定期的な検診で早期発見

本市で死亡した人のうち、3.7人に1人が「がん」で亡くなっている、その割合は約3割と、最も多くを占めています。がんによる苦痛や負担は、本人だけでなく家族にまで及び、その人の生活や人生まで変えてしまいます。

がん対策で最も効果的なのは、予防です。検診で早期に発見すれば、簡単な手術で済むこともあり、苦痛が少なく済みます。また、回

復も早く、助かる確率も高くなります。

一方で、がんの発見が遅れた場合、その医療費は、早期発見の場合と比較すると高額なものとなり、家計を圧迫するだけでなく、最悪の場合、大切な命を失うことにもなります。

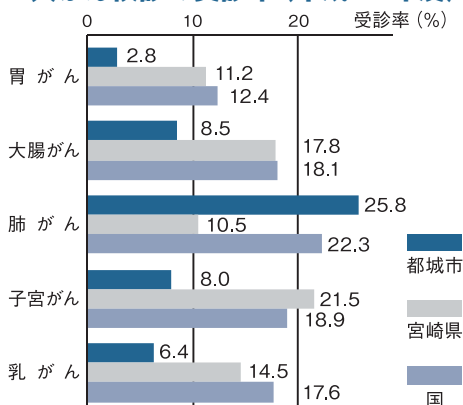
がんを早期発見するためには、症状がなくても定期的に検診を受けることが重要です。

受診率の改善に向けて

市では、商工会議所などと連携して受診啓発を行ったり、女性訪問員が各家庭を訪問して受診を勧めたりするなど、受診率の向上に取り組んでいます。

また、クーポン券を使うと乳がんなど女性特有のがん検診は無料になります。その他、70歳以上の人や生活保護世帯、市民税非課税世帯も無料で受診できますので、詳しくは健康課に相談ください。

5大がん検診の受診率(平成20年度)



平成23年度 がん検診一覧

胃がん (バリウム検査)	対 40歳以上 負 集団検診 900円 個別検診 2,400円
子宮がん ※2年に1回	対 20歳以上(偶数年生まれ) 負 集団検診 800円 ・頸部のみ 個別検診 1,400円 ・頸部+体部 2,100円 ※20歳から5歳刻みで女性特有のがん検診を無料で受診できます。その際は、事前に郵送してある無料クーポン券を利用して受診ください
乳がん	対 40歳以上(偶数年生まれ) 負 集団検診 2,000円 ・マンモ+超音波 個別検診 1,200円 ・マンモ+視触診 ※40歳から5歳刻みで女性特有のがん検診を無料で受診できます。その際は、事前に郵送してある無料クーポン券を利用して受診ください
大腸がん (便潜血検査)	対 40歳以上 負 集団検診 300円 (総合支所管内のみ) 個別検診 900円
肺がん	40歳以上 負 無料

※受診期間：検診車による集団検診は指定日、個別検診は5月～平成24年2月(指定医療機関で受診)
 集団検診受診希望者は、健康課に申し込みください
 対=対象者、負=負担額、マンモ=マンモグラフィ

家族や地域、職場など

身近な人からの受診の勧めが大切!

女性訪問員 森永 裕子^{ひろこ}さん

現在10人の女性訪問員が各家庭を訪問し、がん検診の受診を勧めています。関心の薄い人もいますが、早期発見で多くの命が救われていることを伝えています。

この訪問活動により、女性特有のがん検診の受診率は、実施前より約5ポイントも上昇しました。受診するようにと背中を押してくれる人がいれば、行動を起こしやすいのではないのでしょうか。

家族や地域、職場などで「もう受けた?」と互いに声を掛け合うことが大切だと思います。

